

佐世保市立吉井南小学校

「凡事徹底～『徹底』の徹底～」



所在地：佐世保市吉井町前岳2 7 番地3
校長：山口 伸一郎
児童数：195名（12学級）



1 教育目標

「夢・あこがれをもち 笑顔あふれる吉井っ子」の育成

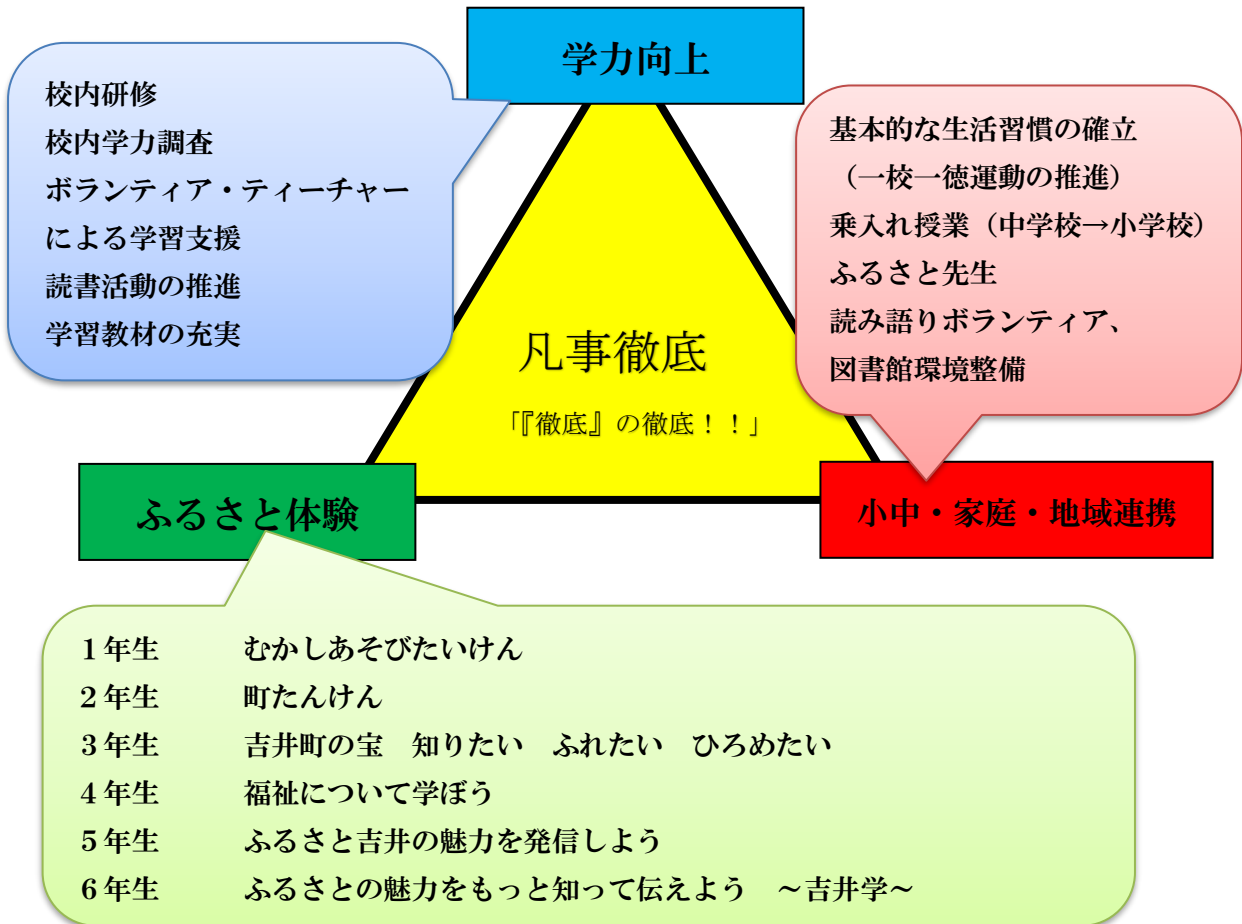
2 めざす児童像

思いやりのある子	進んで学習する子	たくましい子
----------	----------	--------

3 重点目標と具現化の方策

○ 人間関係力	他者を理解し、思いやりのある子どもの育成
○ 考える力	目標をもち、進んで粘り強く学習に取り組む子どもの育成
○ 基礎体力（耐力）	心と身体を鍛え、困難を乗り越えようとする力をもった子どもの育成

4 本校の取組の3つの柱



5 具体的実践

校内学力検査（考える力の育成）

○児童の伸びや課題を検証するために、学力向上の取組の一環として、校内学力検査（12月）を全学年で実施した。教科は国語と算数で、同一集団における昨年度との比較をすることで伸びを確認したり、学級の実態を考察したりすることで、次年度に向けての方向性を明らかにした。



校内研修（考える力の育成、人間関係力）

○研究主題「一人一人の読解力を高める国語科『読むこと』の授業づくり ～確認読み・解釈読み・評価読みを取り入れた説明的文章の読み方の指導を通して～」のもと、授業改善を進めた。子どもたちの読み取る力を高めるために、国語科の説明的文章に焦点を当て、教材研究や板書型指導案を取り入れた授業研究会を実施した。



学力向上

成果 授業改善やボランティアの活用等により、2～6年において、国語で前年度からの伸び（校内学力調査）が見られた。少しずつではあるが、学力の向上を実感することができる。

課題 学力テスト等の結果を精査し、学力の向上のために、よりきめ細やかな指導の充実を図る。

全学年 ボランティア・ティーチャーの活用（考える力の育成）

○週に2回、ボランティア・ティーチャーが来校し、算数を中心に、子どもたちの学習支援を行った。丸付けや個別のアドバイスなど、担任をサポートしながら活動した。



読書活動推進（考える力の育成）

○学校司書と図書担当職員及び図書ボランティアが連携し、読書活動の充実（環境整備、本の修理等）を図った。

○全学年で定期的に、図書ボランティアによる読み語りを行っている。子どもたちの情操を豊かにするとともに、読書の楽しさを伝えることができた。



1年生むかしあそびたいけん (人間関係力・考える力)

○地域の民生委員児童委員の方々を招聘し、昔遊びをとおした交流活動を行った。世代を超えた交流でコミュニケーション能力を養うことができた。



2年生 町たんけん (人間関係力・考える力)

○町探検を行い、地域の様々な施設や人々と関わることで、吉井町の様子やよさについて知ることができた。



3年生 吉井町の宝 (人間関係力・考える力)

○いちご作り農家を訪れ、仕事の工夫など、社会科の学習と関わらせて学んだ。また、校区内にある名所や特色あるスポットについて、実際に訪問することで、地域への愛着や関心を高めた。



ふるさと体験学習

成果 学習活動を通して、地域のことをより深く理解し、コミュニケーション能力を高めることができた。

課題 体験活動の内容を精査し、が年に応じたより質の高い学習活動の構築を目指す。

4年生 福祉について学ぼう (人間関係力・考える力)

○市社会福祉協議会と連携し、身近な福祉についての学習を進めた。車いすやアイマスク、高齢者疑似体験等を通して、身体にハンディキャップを持つ方々への理解と思いやりの心を深めることができた。



5年生 ふるさと吉井の魅力 を発信しよう (人間関係力・考える力)

○吉井町の自然(佐々川)や県の文化財に指定された石橋群の調べ学習を通して、ふるさと吉井町の自然や文化遺産への誇りと愛着をもつことができた。



6年生 ふるさとの魅力をもっと知って伝えよう (人間関係力・考える力)

○吉井町の歴史遺構(直谷城跡、福井洞窟)についての調べ学習を行い、それらをまとめる活動を通して、吉井町の魅力を新聞等にまとめ、発信した。3学期には、地域のゴミ拾いを行った。



6年生「乗入れ授業」(考える力)

○吉井中学校の職員による乗入れ授業を行った。中学校から数学の担当職員が来校し、本校6年担任とのチーム・ティーチングで学習指導を行った。学習効果が高まるとともに、子どもたちの、中学校生活への期待を高めることができた。



全学年 ふるさと先生(人間関係力)

○各学年で、年間をとおして計画的に、「ふるさと先生」を導入した。生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の教育力を活用した教育活動を実践した。コミュニケーション能力を高めるとともに、ふるさと吉井を愛する心を育てることができた。



小中・家庭・地域連携

成果 活動の充実により、学校と家庭、地域が同じ目標を持って歩むことができている。

課題 本校のスローガン「凡事徹底」を継続し、「気持ちのよいあいさつ」のできる子どもを育成する。

4～6年「親子健康学習会」

(人間関係力・基礎体力<耐力>)

○「メディアとの上手な付き合い方」をテーマに、外部講師を招聘して講演会を開催した。4～6年児童及び保護者を対象に行い、「ゲーム依存の恐ろしさや SNS の危険性、上手な利用の仕方等」について講話をしていただいた。



1年 保育園・幼稚園との交流(人間関係力)

○本校1年生が吉井町内の保育園児や幼稚園児と交流会を開催した。顔合わせ会や学校案内等、楽しく充実した会となった。



一校一徳運動(人間関係力)

○本校の一徳運動のスローガン「笑顔であいさつ おうちで おそとで がっこうで」ののぼりを活用し、子どもたちや保護者、地域への啓発を行っている。

